

食の文化

題字は五木寛之氏

「白山は、富士山、立山」とともに日本三名山のひとつ……という定評何は、これまで数多く見聞きして

とが・のりまさ 55年、金沢市生まれ。金沢大法文学部卒。在学中からワンダーフォーゲル部に所属し、白山山系を中心に山登りを続けている。著書に『花の山旅 白山』(山と溪谷社)、『白山 花ガイド』(橋本確文堂)ほか。県自然保護課主幹。

大汝(おおなんじ)峰から主峰の御前(ごぜん)が一峰を望む



白山は「三名山」

由来の根拠を考える

きたし、私も使ってきた。しかし、考えてみれば、い

の方が「三名山」より広く使われている。「三名山」と

山は、意図的か否かは別

「三名山」の由来に関する



19期 梅 典雅

ふと立ち寄った白山砂防科学館に、この連載が掲示してありました。



ハチクマ

梅 典雅さん ② 「百名山」の功罪

金おんいんがんが

題字は五木寛之氏

山岳雑誌『山と深谷』

うた。

は、02年1月号で「読者が

ちなみに、9位までの山

深田久弥(1903〜71)

つづいている。百名山登山者

指している。『山と深谷』

白山の人氣が高まった理

由として、私は『日本百名

山』の影響が大きいのでは

ないかと思っている。『日

本百名山』についてはいま

さら言うまでもないが、大

聖寺(加賀市)出身の作家

入れの深い贅美の言葉でつ

過熱人氣山荒廃の一因

選んだ日本の山100」と

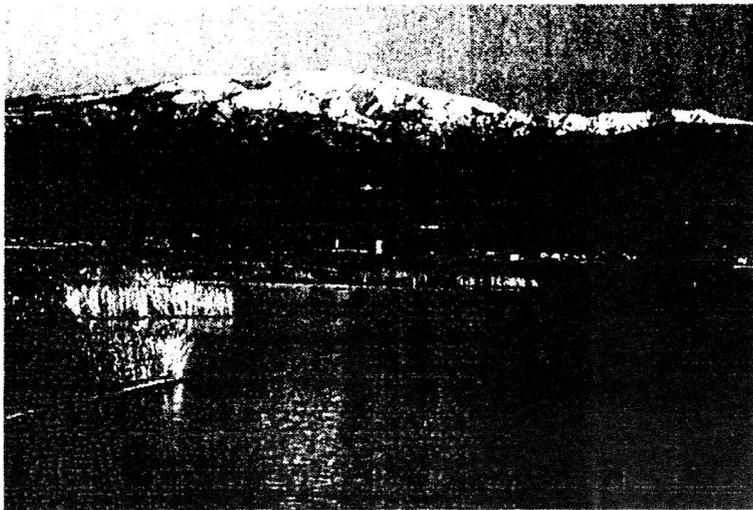
名を並べると、1位の槍ヶ

が一定の基準と自身の登山

が、白山に注目しないわけ

り、地元が経済的に潤うの

問題もある。先の『山と深



柴山淵から望む白山

谷)に「私の好きな山ベスト10」という誌面があり、元朝日新聞編集委員でジャーナリストの本多勝一氏は「山の順位づけ自体愚劣」とし、「深田百名山を早まわり競争までやって荒廃させたモトは深田さんにある」と書いている。百名山登山者には、山をゆつくり楽しむことなく、無理な行程で遭難騒ぎを起こしたり、マナーが不足したりしている者も多い、と聞く。登山者の増加が自然に悪影響を与えるケースも少なくない。白山を愛し、山のすばらしさを説いた深田久弥の心に反してはならないと思う。(真自然保護課主幹)



梅 典雅さん ③ 花の名山

食家さんごういび

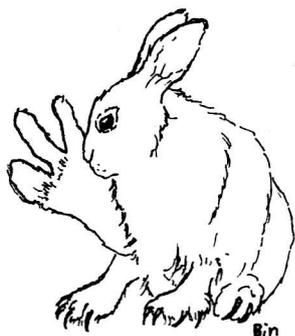
題字は五木寛之氏

前回、山岳雑誌『山と溪谷』(02年1月号)の「読者の思いを述べてみた」。

白山が「花の名山」である。山植物が生育する核心部は、もちろん、広い範囲が、

高山植物の宝庫守れ

者が選んだ日本の山100で、白山が10位にランクされたことを紹介した。今回からは、そのアンケータ結果を基に、白山の魅力とその未来について、私の順位は、女性の9位に対して、男性ではベストテンに入らない。つまり、白山の標準的な和名で18種ある。人気上昇は、近年、増加傾向にある女性登山者によるところが大であり、同誌も「女性の花の多いおやかな山が好き」と分析している。白山が「花の名山」である。山植物が生育する核心部は、もちろん、広い範囲が、



ウサギ

い。白山は、高山帯を有する山としては日本の最西端に位置するため、1000種を超える高山植物の分布



室堂平のクロユリと御前峰は、白山が西または南の限界になっている。その上、高山帯の面積も狭いので、これらの植物は、今も絶滅の危険にさらされている。地球温暖化や酸性雨といったグローバルな環境悪化は、もちろん、登山道が浸食され、深く掘られることによる周辺の乾燥化や登山者の踏みつけによる裸地化なども脅威である。私たちは、そのことを肝に銘じて白山に登り、花を愛で、また、白山を訪れる登山者にも伝えていかなければならないと思うのである。(県自然保護課主幹)

梅 典雅さん ④ 白き名山

食の文化

題字は五木寛之氏

白山ほど、わかりやすい
名の山はない。雪を頂くそ

さて、再び「詠者が選ん
だ日本の山100」(『山

37%は、石川、福井、岐阜
県民であるという。火打

が美しい」という理由は、
関連があるように思う。また、江戸時代の旅行

深田久弥も、故郷の大聖寺
から眺める白山が「薄紅色
に染まるひと時は、美しい
ものの究極であった」と称
賛したあとに、「仰いで美
しいばかりでなく、登って
も美しい山である」と言
ている。

優美な山容「いやし系」

の姿を、四方から眺められ
る白山は、古より、農耕
や漁労にたずさわる民の信
仰を集め、奈良や京の都人
にも知られていた。雪や白

と「漢谷」(2年1月号)のア
ンケート結果であるが、10
位に入った白山を選んだ理
由のベスト3は、「①花が
豊富②地元の山だから③山
容が美しい」であった。②
の「地元の山だから」に関
しては、「白山の得票数の

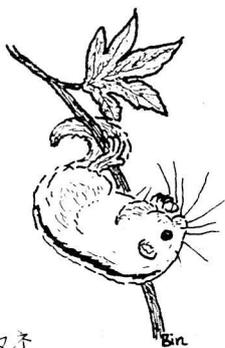
「山容」には、例えば「室
堂から眺める御前峰」とい
った白山登山時の景観も含
まれてくるかもしれない
が、平野部や周辺の山々か
ら眺める白山とくらえる方
が、一般的であろう。

「日本百名山」を著した
を、実に端的に言い表して
いると思う。

富士山の「端尻」や鋸岳
「峻険」に対し、白山は

あるいは槍・穂高連峰の
「峻険」に対し、白山は

登山の対象だけでなく、
風景としての白山もかけ
がえのない資源・財産で
あり、白山が名山である
ための重要な要件である
ということを再認識した
。(県自然保護課主幹)



ヤマネ



深田久弥が「ふるさとの町
から眺めるのが最上」とい
う大聖寺から見た白山

梅 典雅さん ⑤ 名山であるために

自然への負荷、最小限に

題字は五木寛之氏

古来、「日本三名山」 また、「日本百名山」ブームが今後も続けば、遠方
「日本三名山」のひとつと がある。飲料水の不足や汚

自然への負荷、最小限に

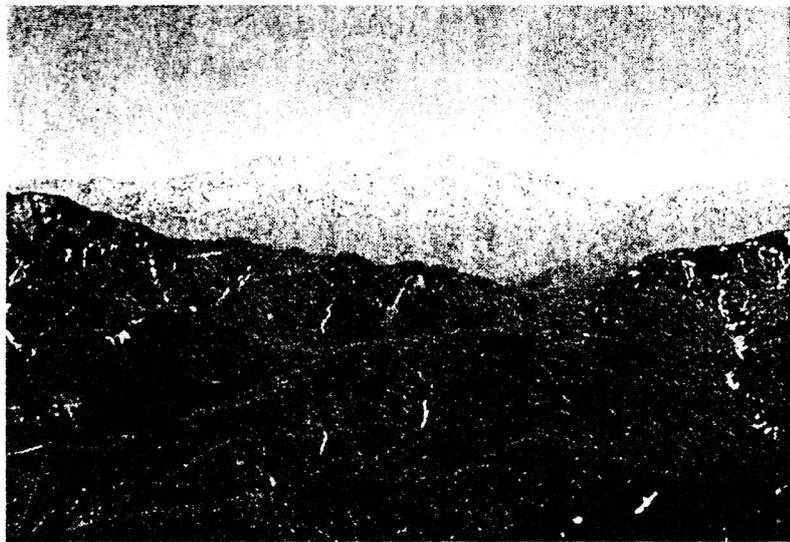
してたえられてきた白山 からの登山者が増える可能 性がある。実際、75年と96 年の室堂宿泊者の比較で は、関東在住者の割合が約 5%から10%に、関西在住 者が15%から19%に増加し ている。
しかし、夏の最盛期の登 物処理、自然環境への悪影 響といった問題もある。 一方、登山ブームは、地 方のマイナーな山々にも及 び、これまでは考えられな かったようなことが起きて いる。例えば、福井県の 「百名山」荒島岳はもちろ

山者受け入れは、すでに限 られている。近年は、 赤鬼山なども、ニッコウ 山小屋にもそれなりの快適 性が求められるなかで、宿 泊施設は予約制をとった り、改修・改善に努めてい るものの、特に白山室堂の ような大規模施設では限度 がある。飲料水の不足や汚

このような山の魅力は、 手軽に登れることもある が、なんと言っても白山の

眺望であろう。そもそも白 山信仰は、白山を遥拝する ことから始まったように、 白山周辺には、すばらしい 展望の山がいくつもある。 これからも白山が名山で あるためには、白山中心部 の集中利用を避け、自然の

保護と快適性を保持するこ とが大切である。自然への 負荷を最小限にしながら活 用し、地元にも利益をもたら



白山の選擇所であった法恩 寺山から

す「エコツーリズム」は、 その一方策である。例え ば、利用者の極めて少ない 中宮道や加賀瀬定道、あ るいは周辺の山々をガイド と歩き、白山の自然や歴史 にふれ、眺望を満喫し、温 泉に泊まるといったトレッ キングが定着しないものだ ろうか。

今年には白山国立公園の指 定40周年にあたり、国際山 岳年、国際エコツーリズム 年でもある。また、来年は 深田久弥の生誕百年。白山 の未来を考えると、よい機会 であると思う。

(県自然保護課主幹)

次回からは中森あかねさん

